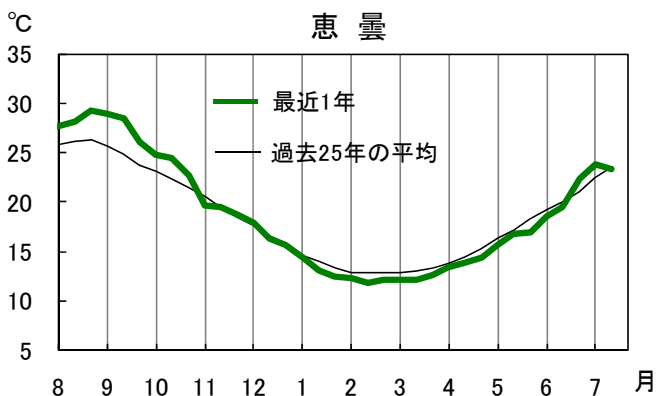
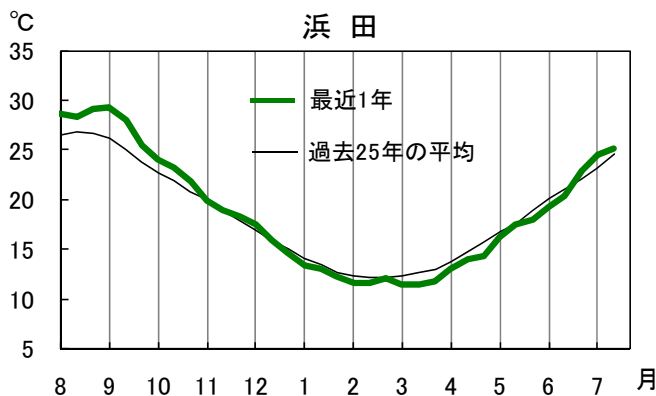




《6～7月の海況》

6月	月平均	平年差	評価
浜田	20.8℃	-0.2℃	平年並み
恵曇	20.2℃	±0.0	平年並み

沿岸定地水温は、浜田地区及び恵曇地区とも6月中旬までは「やや低め～かなり低め」でしたが、6月下旬に高め傾向に転じ7月上旬まで「やや高め」となりました。両地区とも7月中旬時点で「平年並み」で経過しています。



《6月の漁況》

【中型まき網漁業】

県西部（浜田地区）ではマアジ主体の漁況でした。昨年（平成22年）同様、春季の海水温が低め傾向にあり、来遊の遅れが心配されましたが、漁獲量は昨年を上回り、平年並みの漁況でした。一方、県東部（西郷地区及び浦郷地区）ではマアジの来遊は少なく、5月に引き続きマイワシ主体の漁況でした。今年（平成23年）のマイワシの漁獲量は1月～6月で既に2万トンを超え、この豊漁がマイワシ資源の回復の兆しであることを期待します。

【イカ釣漁業】

浜田地区（属地5トン以上）ではスルメイカ主体（全体の95%）の漁況で、1隻1航海あたりの漁獲量は平年を上回りました。西郷地区（属人5トン以上）でもスルメイカ主体（全体の100%）の漁況で、1隻1航海あたりの漁獲量は平年を下回りました。7月に入り浜田地区では少しずつですがケンサキイカが水揚げされる割合が高まってきました。

【バイかご漁業】

6月から始まった石見地区のバイかご漁業ですが、今期より1隻減の4隻で操業を行っています。その影響により総漁獲量は66.1トンで、前年、平年を下回りました。主漁獲対象であるエッチェウバイは銘柄「大」を主体に「特大」、「中」の漁獲が多く、漁獲量は23.5トンで前年、平年の7割の水揚げに止まりましたが、1隻1航海あたりの漁獲量は535kgで、前年、平年並みの水揚げ状況でした。

【シイラまき網漁業】

6月から始まった石見地区のシイラまき網漁業はシイラ主体の漁況で、その漁獲量は平年の2割でした。1隻1航海あたりの総漁獲量は505kgと平年の6割であったことに加え、例年シイラと共に漁獲されるヒラマサの来遊が少なかったことも影響し出漁日数が平年の4割に留まったため、総漁獲量は平年の2割と低調でした。

【定置網漁業】

石見地区ではマアジ主体の漁況で、1統当りの漁獲量ではマアジが平年の7割であったため、全統の総漁獲量も平年の7割でした。出雲地区でもマアジ主体の漁況で、1統当りの漁獲量ではマアジは平年並みでしたが、平年では漁獲量の2位を占めるホソトビウオ（丸アゴ）が平年の8割に止まるなど平年を下回る魚種が多かったため、全統の総漁獲量は平年の8割でした。隠岐地区ではホソトビウオ・マアジ主体の漁況で、1統当りの漁獲量ではホソトビウオが平年の3.2倍であったため、全統の総漁獲量は平年の2倍となりました。

【釣・縄】

石見地区ではメダイ、スルメイカが主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は18kgで平年を上回りました。出雲地区ではスルメイカ、ブリ、カサゴ・メバル類が主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は18kgで平年並みでした。隠岐地区ではカサゴ・メバル類、スルメイカ、キダイが主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は22kgで平年並みでした。

【平成 23 年 6 月の漁獲統計】

漁業種類	水揚港	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1 隻(統)1 航海あたり漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
まき網 (中型・大 中型)	浜田	マアジ	414 トン	179%	94%	10.6 トン	192%	93%	○
	西郷	マイワシ	4,557 トン	188%	202%	47.5 トン	219%	212%	◎
	浦郷	マイワシ	4,318 トン	288%	331%	54.0 トン	303%	325%	◎
イカ釣り (5トン以上)	浜田	スルメイカ	18 トン	835%	118%	161 kg	790%	230%	◎
	西郷	スルメイカ	18 トン	100%	105%	104 kg	83%	63%	▲
バイかご	大田管内	エッチュウバイ	66 トン	90%	81%	1.5 トン	119%	115%	◎
シイラまき	和江	シイラ	3 トン	84%	9%	341 kg	95%	37%	▲
定置網 (大型)	浜田	マアジ	27 トン	93%	83%	1,110 kg	100%	82%	▲
	美保関	マアジ、ホソビウオ(丸アゴ)	98 トン	104%	58%	948 kg	104%	59%	▲
	浦郷	マアジ、ブリ	69 トン	265%	190%	2,460 kg	246%	186%	◎
釣り・縄	仁摩	メダイ、スルメイカ	11 トン	93%	99%	30 kg	110%	129%	◎
	大社	ブリ、カサゴ・メバル類	8 トン	34%	59%	21 kg	68%	100%	○
	西郷	カサゴ・メバル類、メダイ、スルメイカ	14 トン	73%	85%	30 kg	92%	98%	○

平年比：過去 5 年（沖底のみ 10 年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下

本年の漁獲量が 0Kg(ほぼ 0Kg)のものは全てを－、前年の漁獲量が 0Kg(ほぼ 0Kg)のものは前年比を－、平年の漁獲量が 0Kg(ほぼ 0Kg)のものは平年比を－とした